



木曽町



王滝村

水源の森林を守り、脱炭素社会に貢献

～木曽町・王滝村 J-クレジットのご案内～

写真: 牧尾ダム

長野県の木曽町・王滝村は、私たちの水源である牧尾ダムを有する地域です。

水源地の森林は、私たちの生活に欠かせないきれいな水を生み出し、大雨の洪水も緩和する大切な存在です。

木曽町・王滝村のJ-クレジットは、森林の保全・育成を支援する仕組みであり、購入すると、王滝村・木曽町と購入企業に次のような貢献をもたらします。

水資源の保護



森林が水を浄化し、下流域の飲料水や農業用水の質を向上させます。J-クレジット購入代金は、森林保全・育成の財源となります。

洪水の緩和



森林が大雨時における川の流量のピークを低下させたり、ピークの発生を遅らせることで、下流域の洪水を緩和する働きがあります。

生物多様性の保全



森林が多く野生の植物・生物の生育・生息の場となり、日本古来の自然環境や生物多様性の保全につながります。

脱炭素経営の推進



購入企業は、J-クレジットで商品・サービスの提供の際に排出するCO2を相殺するなど、脱炭素経営の推進・PRができます。

写真: 大府市

王滝村・木曽町について

長野県南西部、木曽地域の中心部に位置する木曽町・王滝村は、牧尾ダムを有する地域です。両町村の総面積78,689haのうち、森林面積が約93%を占める緑豊かなまちです。木曽御嶽山、木曽駒ヶ岳を擁し、木曽川は、愛知用水を経て、大府市の水源となっています。

大府市は、令和5年7月に木曽町・王滝村と「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」を締結し、木曽地域の木材の利用・促進、こどもの木育の推進、J-クレジットの普及など、様々な分野で連携を進めています。



J-クレジット制度の概要

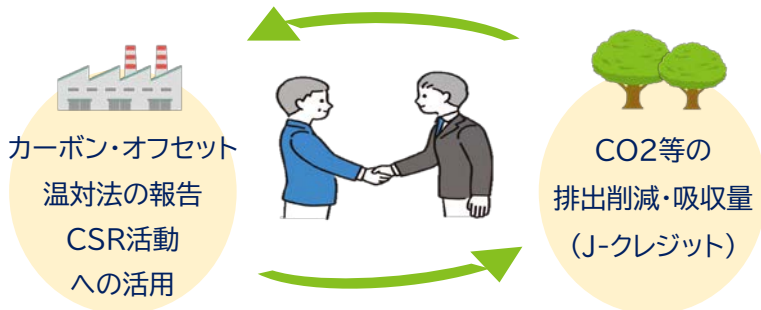
J-クレジット制度は、森林の保全・育成によるCO2等の吸収量、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量をクレジットとして国が認証する制度です。クレジットは、売買が可能で、購入した企業は、法律に基づくCO2等の排出量の報告や商品・イベントのカーボン・オフセットなどによる企業の脱炭素経営の推進・PRに活用することができます。

クレジットの購入代金は、クレジット創出者に還元され、更なるCO2等の排出削減・吸収の取組や地域活性化などの財源として活用されます。

※ 木曽町・王滝村のJ-クレジットは、町・村有林の森林保全活動により創出されています。

購入企業の活用事例

- 商品・サービス、イベントのカーボン・オフセット(実施に係るCO2排出量をJ-クレジットで相殺し、環境への配慮をPR)
- 国の温暖化対策法の報告
- CSR活動(生産活動の電力、社用車から排出されるCO2の・カーボン・オフセット)



販売単価

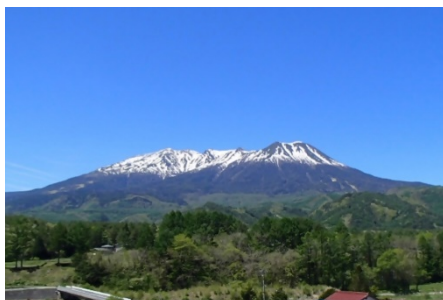
16,500円(税込み)／t-CO2 令和6年秋以降販売開始予定

(1t-CO2は、年間走行距離3,000kmのガソリン車が排出するCO2の量に相当)

※ 購入を希望する場合は、木曽町又は王滝村と直接契約していただくことになります。



大府市と木曽町、王滝村との連携協定締結式



木曽町から見た御嶽山



空から見た王滝村